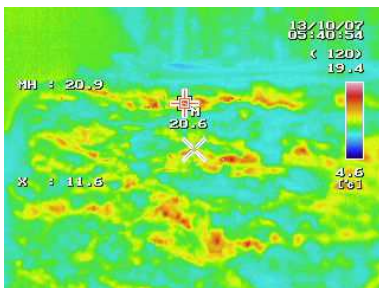


## サイレージの発熱

保存飼料のサイレージの良否を、サーモグラフィーカメラを用いて分析をしてみた。

赤外線サーモグラフィーは、カメラに写った画像を放射熱から映像化したもので、7色の色調で温度分布を表している。上下の温度設定を狭くすることにより、最大0.04℃の差を映像化する事のできるものである。近頃のテレビでは、体の熱の変化などをこの赤外線サーモグラフィーカメラを使って紹介をしている。明かりのない場所でも、動物など熱のあるものの動きを知ることができる優れものである。

### グラスサイレージの断面 熱画像



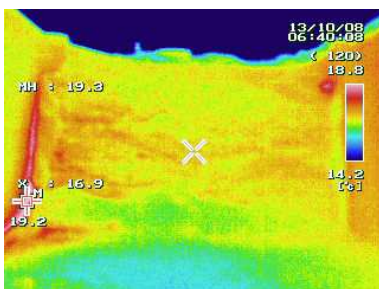
環境温度 22℃ 湿度 60%

### 可視画像



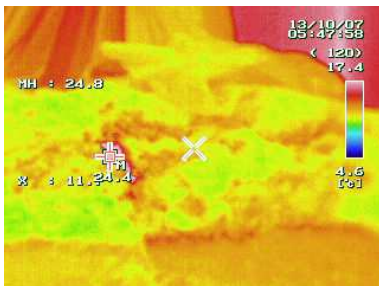
薄い層になって発熱している部分が見える。上部には黴びた部分もある。

### コーンサイレージの断面



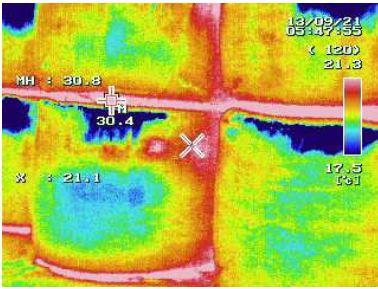
壁際の両端部に発熱箇所がある。雨の侵入が考えられる。

### 取り置きサイレージの発熱



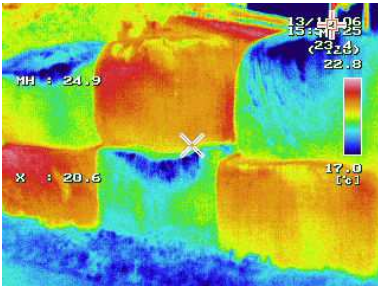
取り置きサイレージは発熱しやすいので、取り出し口に残して置いてはいけない。2次発酵(腐る)元になる

## ロールパックサイレージの様子



ロールパックの写真のように平積みにする。境目に圧力がかかり、熱が高いことが判る。俵積みでは、境目に重圧がかかり、自然発火の危険がある。x印部分にピンホールがある可能性が見える。

## フィルムの色



フィルムは黒が熱を吸収するので高くなる。直射日光の当たる場所では、品質劣化の一因にもなり得る。

## まとめ

サーモグラフィーカメラでロールパックの様子を撮ることにより、品質劣化のリスクを知ることができる。保管後開封時の品質劣化を防ぐ手段を講ずるヒントを与えてくれる。特にピンホールの存在を知ることは重要である。